

11月11日(木) 10:00-12:40

◇主催者挨拶

◇来賓挨拶

京都府知事  
京都市長

山田 啓二 (予定)  
門川 大作 (予定)

◆基調講演

「IoT 機器を支える超小型電子部品」



株式会社 村田製作所  
取締役常務執行役員  
技術・事業開発本部 本部長  
岩坪 浩

[講演要旨]

あらゆるモノやコトがデジタル化し、インターネットでつながる世界が出現すると考えられている。「コネクテッド世界」、「500 億デバイスがつながる世界」への電子部品メーカーとしての取り組みを紹介する。

[講演者プロフィール]

1985年3月 京都大学卒業。  
1985年4月 株式会社村田製作所入社。第5開発部に所属しセラミック材料開発に従事。  
1989年 Murata Europe GmbH 出向。  
1993年 村田製作所に帰任。技術管理部、半導体商品部、企画部、センサ事業部を経て、  
2012年 執行役員 営業本部 本部長に就任。  
2015年より、取締役 常務執行役員 技術・事業開発本部 本部長を担当し、現在に至る。

◆基調講演

「IoT 革命がもたらす電子デバイスの新世界 ～メモリー半導体とセンサーが急上昇～」



株式会社 産業タイムズ社  
代表取締役社長  
泉谷 渉

[講演要旨]

世界を巻き込む IoT 革命の波がわが国ニッポンにもひたひたと押し寄せてきている。AI、ロボット、センサーを駆使

してすべてのモノとコトがインターネットにつながり、第4の産業革命が起きるのです。

電子デバイスに与えるインパクトもすさまじいものがあり、東芝が得意とするフラッシュメモリー、ソニーのお家芸であるCMOSイメージセンサー、村田製作所がトップシェアを持つSAWフィルターなどが一気に高成長を遂げると予想されます。

今回講演ではデバイス、装置、材料の各分野で電子デバイスの大型設備投資が巻き起こる状況を最新取材で詳細にレポートします。

#### [講演者プロフィール]

神奈川県横浜市出身。聖光学院中高等学校を経て、中央大学法学部政治学科卒業。

1977年 株式会社産業タイムズ社に入社し、半導体担当の記者となる。以来30年以上にわたって第一線を走ってきた国内最古参の半導体記者であり、現在は産業タイムズ社代表取締役社長と特別編集委員を兼務する。

主な著書には『日本半導体50年史 時代を創った537人の証言』（共著・産業タイムズ社）、『日本半導体起死回生の逆転』、『次世代ディスプレイ勝者の戦略』、『半導体業界ハンドブック』、『電子材料王国ニッポンの逆襲』、『ニッポンの素材力』、『ニッポンの環境エネルギー力』、『シェールガス革命で世界は激変する』（以上、東洋経済新報社）、

『これが半導体の全貌だ』、『これがディスプレイの全貌だ』（以上、かんき出版）、

『日の丸半導体は死なず』（光文社）、『100年企業～だけど最先端、しかも世界一』（亜紀書房）などがある。

2011年～2013年 社団法人日本半導体ベンチャー協会会長。現在、一般社団法人日本電子デバイス産業協会理事・副会長。

---

#### ◆ 基調講演

### 「New Era of Electrification and Vehicle Intelligence」



日産自動車株式会社

フェロー

久村 春芳

#### [講演要旨]

"考えるクルマ"と交通社会の未来

20世紀にクルマが生み出した4大課題（エネルギー、温暖化、事故、渋滞）を解決するカギはクルマの「電動化」と「知能化」にある。クルマの「知能化」は、「電動化」を基盤に、センサ、コンピュータ、通信などITの進化を取り込むことで発展しており、いまや「自動運転」を可能にしようとしている。日産が2020年までに実現する自動運転の概要を紹介し、実現に必要な技術を、センサ、人工知能、制御などの側面から解説する。

さらに自動運転が普及した先にある、交通社会の未来像についても考察する。

#### [講演者プロフィール]

1981年、東京工業大学大学院修士課程機械工学専攻修了。同年、日産自動車株式会社入社。同社総合研究所動力環境研究所主任研究員、主管研究員、動力環境研究所所長を経て、2005年、同社総合研究所所長となる。2006年に同社総合研究所担当執行役員となり、2009年4月より同社フェローとしてテクノロジーインテリジェンスを担当。2012年、横浜国立大学から博士（工学）の学位授与。

---